

平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月12日

上場会社名 株式会社イナリサーチ
 コード番号 2176 URL <http://www.ina-research.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 総務部長
 四半期報告書提出予定日 平成25年11月13日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(氏名) 中川賢司
 (氏名) 野竹文彦

TEL 0265-73-6647

上場取引所 東

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	1,144	△24.6	△93	—	△105	—	△15	—
25年3月期第2四半期	1,517	9.2	13	—	1	—	17	—

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 △72百万円 (—%) 25年3月期第2四半期 27百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	
	円 銭	円 銭	
26年3月期第2四半期	△5.16	—	
25年3月期第2四半期	5.78	—	

当社は、平成24年10月1日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益金額を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	%	円 銭	円 銭	
26年3月期第2四半期	3,900		1,703		42.2	548.47		
25年3月期	4,297		1,735		38.2	547.84		

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 1,644百万円 25年3月期 1,642百万円

当社は、平成24年10月1日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり純資産を算定しております。

2. 配当の状況

	年間配当金					合計
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	3.00	3.00	3.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	3.00	3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,650	△8.3	74	596.5	37	—	20	—	6.91

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期2Q	2,998,800 株	25年3月期	2,998,200 株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	— 株	25年3月期	— 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期2Q	2,998,800 株	25年3月期2Q	2,998,200 株

当社は、平成24年10月1日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、前第2四半期連結累計期間の期中平均株式数を算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続を終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点において入手可能な情報に基づいて作成しておりますが、実際の業績等は様々な要因により予想と異なる結果となる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	4
4. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における医薬品業界では、来年度予定される薬価改定等医療費抑制政策の影響を受け、大手製薬企業が、外部からの新薬導入や後発医薬品への取り組みを優先し、新薬開発の非臨床試験段階でのパイプラインの絞込みと委託費用の圧縮を強化しております。このため当社グループの主力事業が大きく関わる非臨床試験市場は依然として低迷状況であり、CRO（受託試験研究機関：Contract Research Organization、）間の受注競争が続いております。しかし、iPS細胞を用いた新薬開発や移植医療への取り組みが大学や研究機関で始まり医療・健康領域産業が我が国の成長戦略の柱の一つに位置づけられたことから、製薬企業の新薬開発ニーズは急速に変化しております。

当社グループでは、今後市場拡大が予想される遺伝子解析サービス及びバイオ医薬品市場において、医薬品等開発企業や研究機関のニーズに応えるため、7月倉敷紡績株式会社（本社：大阪市中央区）、9月株式会社住化分析センター（本社：大阪市中央区）と業務提携を締結いたしました。この提携により、当社グループは新たに遺伝子解析ほか多様な分析機能を取得したことで既存の試験機能と一体化した非臨床試験情報の提供等より広範囲のサービス提供が可能となりました。また、移植寛容型カニクイザルにつきましては、今後の移植医療に大きな役割を期待され大学や研究機関への納入も実績を重ねており、当面の供給要請頭数は既に確保いたしました。今後とも、フィリピンでの検査を継続するとともに、共同研究先である国立大学法人滋賀医科大学、国立大学法人信州大学並びに学校法人東海大学との連携のもと更なる事業化に向け取り組んでまいります。なお、業績改善に向けた経営合理化策を実践し経費の削減に努め、非臨床試験の営業活動では、情報の共有化を図り顧客訪問頻度を高めた結果、受注は増加しつつあり飼育室の稼働率も上昇しつつあります。

主力の非臨床試験の売上は、当第2四半期連結累計期間に売りに上がる試験が少ないことから前年実績を下回る計画となりましたが、試験報告書提出の期日厳守及び早期提出を目指し営業との連携による進捗管理を行った結果、計画を上回ることができました。しかしながら、利益は特定プロジェクトの受注単価の引下げと受注低迷による稼働率低下の影響により計画を下回りました。なお、当第2四半期累計期間の受注実績は1,079,528千円（前年同四半期1,016,723千円）となりました。これは6月から新経営体制のもと活発な営業活動の成果であり、引き続き力を入れて取り組んでまいります。

臨床試験は、複数試験の売上がありましたが前年実績を下回りました。なおTQT試験の受注がありました。

環境では、製薬企業研究所向け空調設備及び畜産関連業者向けスクラバー工事が売上となり、大学研究棟空調・改修工事の大型工事の受注がありましたが、これについては完成が第3四半期となるため前年実績には及びませんでした。なお、受注は前年実績を上回りました。

この様な状況のもと、当第2四半期連結累計期間における売上高は1,144,483千円（前年同四半期比24.6%減）、営業損失は93,390千円（前年同四半期は営業利益13,342千円）、経常損失は105,011千円（前年同四半期は経常利益1,303千円）、四半期純損失は15,493千円（前年同四半期は四半期純利益17,314千円）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

① 非臨床試験

当第2四半期連結累計期間における売上高は1,048,652千円（前年同四半期比18.0%減）、営業損失は73,443千円（前年同四半期は営業利益5,997千円）となりました。特定プロジェクトの受注価格の引下げと稼働率低下の影響によるものです。

② 臨床試験

前年より実施中の2試験が売上となりましたが、大型試験の売上はありませんでした。売上高は26,435千円（前年同四半期比75.2%減）、営業損失は19,783千円（前年同四半期は営業利益687千円）となりました。

③ 環境

工事2案件が売上となりましたが、大型工事案件の完成が遅延したため前年実績を下回りました。売上高は69,396千円（前年同四半期比47.5%減）、営業損失は163千円（前年同四半期は営業利益6,656千円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当四半期末の資産、負債及び純資産の状況

資産の部の残高は3,900,140千円となり、前連結会計年度末と比較して306,411千円減少しました。本減少は主に、長期借入金の返済によるものであります。

負債の部の残高は2,196,764千円となり、前連結会計年度末に比べ224,697千円減少しました。減少の主な要因は、長期借入金の返済によるものであります。

純資産の部の残高は1,703,375千円となり、前連結会計年度末に比べ81,714千円増加しました。本減少は主に、連結子会社 Inaphil, Incorporated から優先配当を受けたため、少数株主持分が減少したことによるものであります。

す。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成25年8月6日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	341,220	180,523
受取手形及び売掛金	302,419	219,535
商品及び製品	3,291	2,877
仕掛品	667,234	606,825
原材料及び貯蔵品	144,974	188,293
その他	190,584	240,616
貸倒引当金	△178	△174
流動資産合計	1,649,547	1,438,498
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,525,384	3,528,584
減価償却累計額	△2,034,002	△2,093,768
建物及び構築物（純額）	1,491,382	1,434,815
土地	783,713	783,235
その他	943,175	945,084
減価償却累計額	△785,947	△809,050
その他（純額）	157,228	136,034
有形固定資産合計	2,432,324	2,354,086
無形固定資産	65,198	53,228
投資その他の資産		
その他	56,021	51,660
貸倒引当金	△900	△900
投資その他の資産合計	55,121	50,760
固定資産合計	2,552,644	2,458,074
繰延資産	4,359	3,566
資産合計	4,206,551	3,900,140
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	260,475	220,142
短期借入金	200,000	225,001
1年内返済予定の長期借入金	308,686	289,996
1年内償還予定の社債	60,000	60,000
未払法人税等	7,586	6,328
前受金	564,465	597,302
賞与引当金	—	25,083
その他	195,728	153,343
流動負債合計	1,596,940	1,577,198

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
固定負債		
社債	120,000	90,000
長期借入金	539,671	394,673
退職給付引当金	2,014	2,156
役員退職慰労引当金	52,350	—
その他	110,485	132,736
固定負債合計	824,520	619,566
負債合計	2,421,461	2,196,764
純資産の部		
株主資本		
資本金	684,940	684,940
資本剰余金	600,940	600,940
利益剰余金	414,059	389,569
株主資本合計	1,699,939	1,675,449
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△27,866	△30,673
その他の包括利益累計額合計	△27,866	△30,673
少数株主持分	113,016	58,599
純資産合計	1,785,089	1,703,375
負債純資産合計	4,206,551	3,900,140

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
売上高	1,517,306	1,144,483
売上原価	1,166,095	955,052
売上総利益	351,210	189,431
販売費及び一般管理費	337,868	282,822
営業利益又は営業損失(△)	13,342	△93,390
営業外収益		
受取利息	135	43
受取賃貸料	6,515	4,364
その他	1,692	5,572
営業外収益合計	8,342	9,981
営業外費用		
支払利息	13,555	12,992
為替差損	3,207	4,294
その他	3,618	4,314
営業外費用合計	20,381	21,601
経常利益又は経常損失(△)	1,303	△105,011
特別利益		
固定資産売却益	54,963	—
特別利益合計	54,963	—
特別損失		
固定資産売却損	—	7
減損損失	4,610	—
特別損失合計	4,610	7
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	51,656	△105,019
法人税、住民税及び事業税	19,921	11,170
法人税等調整額	△5,390	△45,215
法人税等合計	14,531	△34,045
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	37,124	△70,973
少数株主利益又は少数株主損失(△)	19,809	△55,480
四半期純利益又は四半期純損失(△)	17,314	△15,493

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失 (△)	37,124	△70,973
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△9,276	△1,743
その他の包括利益合計	△9,276	△1,743
四半期包括利益	27,848	△72,717
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	10,400	△18,300
少数株主に係る四半期包括利益	17,447	△54,417

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	51,656	△105,019
減価償却費	122,093	107,390
減損損失	4,610	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	97	—
賞与引当金の増減額(△は減少)	△25,960	25,083
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△1,221	185
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△3,100	△52,350
受取利息	△135	△43
支払利息	13,555	12,992
有形固定資産売却損益(△は益)	△54,963	7
売上債権の増減額(△は増加)	△23,652	82,256
たな卸資産の増減額(△は増加)	29,449	15,751
仕入債務の増減額(△は減少)	42,052	△39,752
前受金の増減額(△は減少)	31,063	32,956
その他	△5,539	△2,832
小計	180,007	76,627
利息及び配当金の受取額	135	43
利息の支払額	△14,189	△13,602
法人税等の支払額	△8,684	△12,268
営業活動によるキャッシュ・フロー	157,268	50,800
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額(△は増加)	△5,908	60,121
有形固定資産の取得による支出	△26,272	△4,536
有形固定資産の売却による収入	152,532	3
その他	△205	2,377
投資活動によるキャッシュ・フロー	120,145	57,965
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△20,000	25,001
長期借入金の返済による支出	△230,902	△163,688
リース債務の返済による支出	△35,038	△35,321
社債の償還による支出	△30,000	△30,000
配当金の支払額	△24,137	△9,103
財務活動によるキャッシュ・フロー	△340,078	△213,111
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2,978	3,877
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△65,642	△100,468
現金及び現金同等物の期首残高	269,898	264,815
現金及び現金同等物の四半期末残高	204,255	164,347

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	非臨床試験	臨床試験	環境	合計(注)
売上高				
外部顧客への売上高	1,278,782	106,429	132,093	1,517,306
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	1,278,782	106,429	132,093	1,517,306
セグメント利益	5,997	687	6,656	13,342

(注)セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書上の営業利益であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	非臨床試験	臨床試験	環境	合計(注)
売上高				
外部顧客への売上高	1,048,652	26,435	69,396	1,144,483
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	1,048,652	26,435	69,396	1,144,483
セグメント損失(△)	△73,443	△19,783	△163	△93,390

(注)セグメント損失の合計額は、四半期連結損益計算書上の営業損失であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。